様式1-2 別紙２　**コウノトリ育む三宅の水田等と営農型太陽光発電所における活動実施計画の概要**　申請者：**株式会社坪口農事未来研究所、株式会社UPDATER、パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社**　**【維持タイプ】**

【実施区域・面積】

兵庫県、8.81ha

【生態系タイプ】

水田、畑・果樹園・牧草地

【実施区域の状況】

株式会社坪口農事未来研究所が「コウノトリ育む農法」等の環境に配慮した有機農法で営農活動を2015年から行っている。また2019年より一部の水田・畑で営農型太陽光発電が稼働。持続可能な農業経営と生物多様性の保全が両立された取り組みが続けられている。

【目標】

生息する多様な在来及び希少な動植物を保全するため、現在の水田・畑を維持管理する。

【主な活動内容】

「コウノトリ育む農法」の継続、マルチトープ（水田退避溝）の維持、侵略的外来種の駆除、適切な太陽光発電設備の配置と管理により動植物の生息生育環境を維持する。

【モニタリング計画】

水田域及び隣接する畦にて、コウノトリや水生動物を対象としたモニタリングを実施。コウノトリはウェブカメラを用いて常時、水生動物は水田域に水が張っている6月に毎年1度行う。

【実施体制】

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科監修のもと、環境コンサル会社が中心となって行う予定。







【計画期間】

令和7年9月～令和12年3月